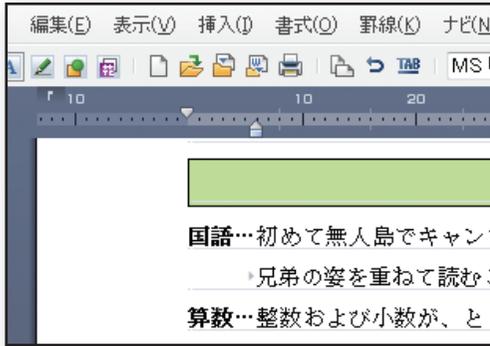




行頭・行末の位置を揃えよう

一太郎



行頭・行末の位置を揃えるのに、スペースキーを使っていませんか？ スペースキーも手軽で便利だけれど、あとから文字の追加や削除を行うなら、インデントを設定しておくのがおすすめ。文字数を増減しても行頭・行末を揃え直す必要がないので、編集作業の効率がアップします。

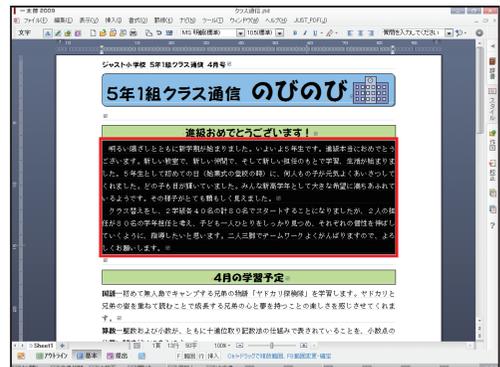


コネタくんからのアドバイス！

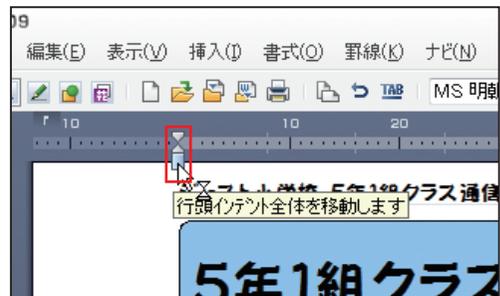
一時的に、行頭・行末の文字位置を微調整したい時には、やはりスペースキーを入力する方法も便利。[Ctrl] キー+スペースキーを押せば、1/4 スペースや 1/3 スペースなど、細かいスペースも入力できるよ。

行頭を揃える（インデントを設定する）

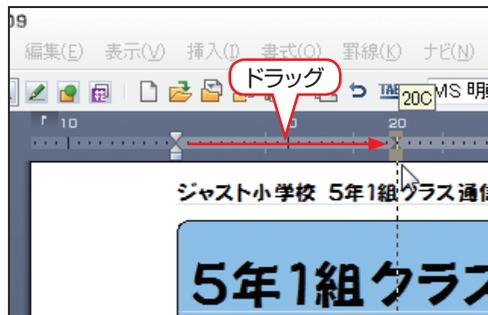
1 行頭を揃えたい段落を範囲指定します。



2 ルーラー上のインデントマークにポイントを合わせます。



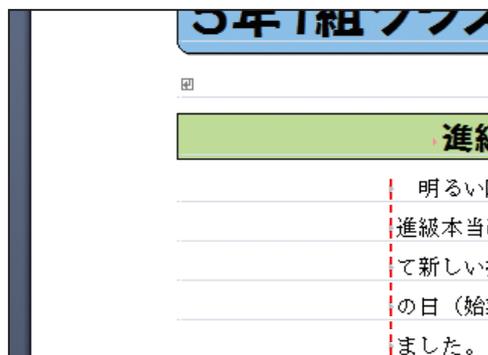
- 3** 移動したい位置までインデントマークをドラッグします。



- 4** ドラッグした位置まで、行頭が移動したのを確認します。

One Point

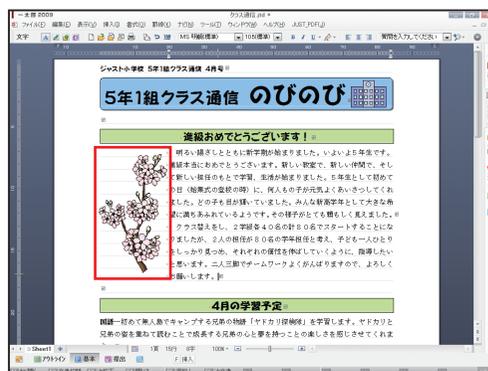
インデントが設定された段落の行頭・行末には、 や  マークが表示されます。また、インデントを解除したい場合は、ルーラーを右クリックして「インデント設定をすべて解除」を選択します。



- 5** 空いたスペースに、イラストや写真を貼り付けます。

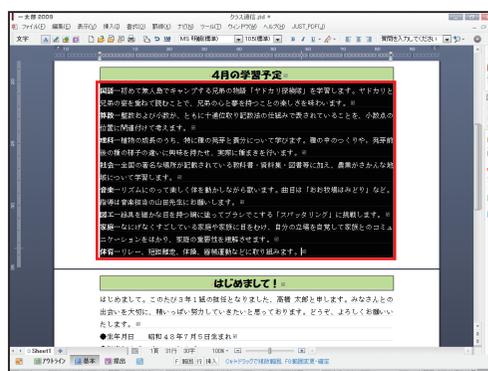
One Point

インデントを利用すると、イラストや写真などのレイアウトスペースを作ったり、文書に階層を付けて読みやすく整えたりできます。

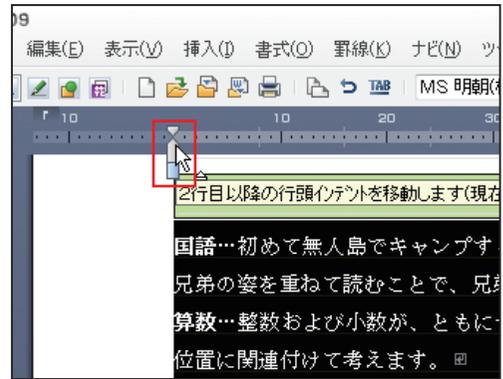


段落の2行目以降の行頭を揃える

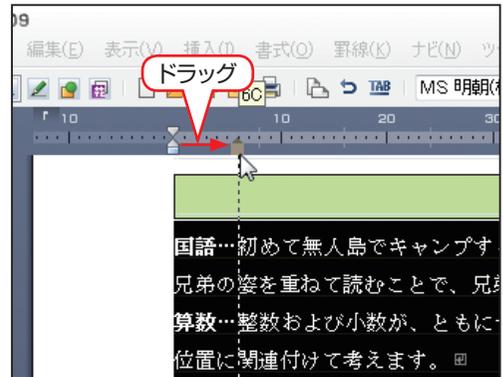
- 1** 2行目以降の行頭を揃えたい段落を範囲指定します。



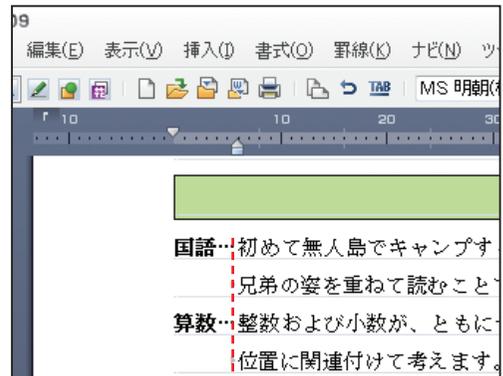
- 2 ルーラー上のインデントマークにポインタを合わせます。



- 3 移動したい位置までインデントマークをドラッグします。



- 4 ドラッグした位置まで、段落の2行目以降の行頭が移動したのを確認します。



ちょこっと
アレンジ!



細かいスペースで文字の位置を揃える

[Ctrl] + スペースキーを押すと、挿入するスペースの大きさを選択できるメニューが表示されます。[1/4スペース] [1/3スペース] など、細かいスペースが入力できるので、行頭・行末などで、少しでも文字位置を調整したい時に利用すると便利です。

